## 農山漁村おみやげ農畜産物販売促進事業 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	神崎町	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	神崎町	平成28年度	令和元年度	平成29年1月12日~平成29年4月24日
3. 事業費(うち国費)	90,467,029円(44,308,809円)			
4. 第三者氏名	山倉明紘			
5. 事業評価				
総合評価				
<ul><li>○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。</li><li>(①から④までを踏まえた総合的な評価)</li></ul>		(評価理由及び助言等のコメント) 下記のとおり今回の事業で設置した施設を総合的に活用した結果、販売実績も順調に伸びてきている。売上額の推移は、H27:227 百万(道の駅開業特需あり・基準年)・H28:205百万・H29:262百万(新直売所オープン特需あり)・H30:263百万・R1:280百万となっ  ている。台風災害やコロナウイルス感染症の影響といった突発的要因があったことから、目標の販売金額には至らなかったものの、		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	本事業により設置された施設の効果は大きく表れている。新型コロナウイルス感染拡大後、売り上げが減少していたが、現在はほぼ前年の水準を取り戻しており、感染の状況によるところもあるが、今後も売上は伸びていく傾向にあると言える。外国人客については定期観光パスツアーなどを誘致し、増加傾向にあったものの、コロナ後の誘客は難しい状況となっている。		
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するのための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) 直売所の生産者拡充のため、町単独の機械導入補助事業や、農家組合等を通じて生産者の募集に取り組んだ結果、採択時(H28) 201名であった生産者数は、令和元年には303名に増加した。また、直売所に併設した屋外常設休憩施設兼展望所は、休憩機能だけ 一でなく旬の野菜類などのコンテナ販売や、イベント時の利用など多目的に活用されている。直売所2階に設置された研修室は、発酵を		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	テーマとした体験教室を開催し、定期観光バスツアーでは主として外国人を対象に「みそ玉」づくり体験を実施し、総合的に直売所及び外国人の販売増加を図った。他方で外国人観光客誘客のため、成田国際空港周辺市町村で連携し、レンタカー利用の外国人に向けて地図情報に基づいたアブリ造成の計画があったものの、実施段階までは至っていないことからB判定とした。		
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は	(評価理由及び助言等のコメント) 直売所の販売額については、目標3.214万円のところ2,802万円で、87%の達成率。訪日外国人への販売額は目標580万円のところ489万円と84% の達成率だった。基準年が開業年であったことから、開業特需の売上をベースとして目標設定しているため、目標値は通常年と比較して高い数値と なっていたが、台風やコロナの影響があったにも拘わらず、まずますの結果であったと思う。また、旧直売施設にはアイスクリームなどを窓口販売す			
評 価 (該当に〇)	(A) (B) (C)重点指導対象	る簡易厨房が併設されていたが、年間約1千万円程度の売上があり、この金額を会計の便宜上直売所販売額に加算していたことから、通常年(例えばH28年)で、簡易厨房分を差し引きし比較した場合、概ね達成できていたのではないかと推察する。また、外国人販売額はコロナウイルスの影響により2月・3月は激滅しており、感染症が発生していなかった場合は、概ね達成できたと考えれ、以上を勘案しB判定とした。		
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体	(評価理由及び助言等のコメント) 道の駅生産者増強に関しては、町と指定管理者で連携し、農家組合等を通じて募集した。直売所2階を利用した体験教室は、町で設置した「発酵の里推進室」と指定管理者で連携し、実施していた。道の駅の生産者の組合である「出品者協議会」についても、町・指 一定管理者と共に研修会やイベントを開催し、道の駅来客増と生産者の経営・技術向上を図っていた。成田国際空港のトランジット客を			
評 価 (該当に〇)	(A) (B) (C)	ターゲットにした定期観光バスツアーに関しては、町が関係機関と調整・コース誘致を行い、計画に沿って指定管理者が受入れを 行った。		
<ul><li>④ その他</li></ul>				
直売所に設置された鮮魚コーナーについては、銚子漁協と連携して、銚子始発で道の駅を経由し東京駅へ向かう高速路線バスの荷室を利用し、朝水揚げされた魚がその日の12時41分着の便で、毎日道の駅に届けられる体制を構築した。				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。